

船舶事故等調査報告書

平成24年4月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第164号	
事故等種類	浸水	
発生日時	平成23年9月9日（金） 13時10分ごろ	
発生場所	千葉県富津市富津岬北方沖 富津市所在の富津港東防波堤灯台から真方位270° 1.4海里付近 （概位 北緯35° 19.1′ 東経139° 47.3′）	
事故等調査の経過	平成23年9月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	水上オートバイ シー・ソルジャー、5トン未満（長さ2.49m） 232-33797千葉、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	機関 濡損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、2人が乗った浮体（バナナボート）をえい航して富津岬北方沖を遊走中、平成23年9月9日13時10分ごろ、主機のドライブシャフトの軸封部から浸水し、主機が停止した。</p> <p>バナナボートの乗船者のうちの1人は、自力で陸岸まで泳ぎ着いたが、船長及びバナナボートのもう1人の乗船者は、来援した救難所の所属船によって救助された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 4、視程 約15km</p> <p>海象：波高 約1m</p>	
その他の事項	<p>本船は、ウォータージェット推進装置を装備し、着脱式シートの下部が機関スペースになっていた。</p> <p>ウォータージェット推進装置は、主機の出力軸に継手を介してドライブシャフト及びポンプが取り付けられており、ドライブシャフトが船体を貫通する軸封部は、オイルシールで機関スペースへの浸水を防止するようになっていた。</p> <p>本船は、製造後約11年が経過していた。</p> <p>船長及びバナナボート乗船者は、全員救命胴衣を着用していた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、バナナボートをえい航して富津岬北方沖を遊走中、主機のドライブシャフトの軸封部から機関スペースに浸水したものと考えられる。</p> <p>本船は、軸封部のオイルシールが経年劣化して浸水した可能性があると考えられるが、関係者から情報が得られなかったため、その状況を明らかにすることはできなかった。</p>

原因	本事故は、本船が、バナナボートをえい航して富津岬北方沖を遊走中、主機のドライブシャフトの軸封部から機関スペースに浸水したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・定期的にドライブシャフトの軸封部を点検し、必要な場合はオイルシール等の取替えを行うこと。